2026 SUMMER！

茨城県立太田第一高等学校野球部 19

○7/15　太田一高 対 霞ケ浦高　ノーブルホーム水戸　第２試合　④

５回表、振り逃げで出塁した砂川雄を、下部がきっちり犠打を決めたところで相手ベンチは急遽エースをマウンドに上げます。140キロ中盤を連発する投球には簡単には対応できずやはり無得点。







５回裏、相手に攻められ１アウト満塁の大ピンチ。しかし、柏は落ち着いてショートゴロに打ち取り、この打球を四倉、砂川、酒井がしっかりとさばき、6-4-3のダブルプレーで切り抜けました。続く6回裏にも再び1アウト満塁の大ピンチ。柏はファーストゴロに打ち取り、それを酒井が確実にキャッチしバックホームで封殺。キャッチャー竹林の咄嗟の判断で三塁に転送。ベースをほんの少しオーバーランしたセカンドランナーをサード大和田が瞬時にタッグ。3-2-5Tのビッグプレーでまたもや大ピンチを凌ぎました。これまで練習を積み重ねて来た成果が、この絶体絶命の場面で見事に表われました。





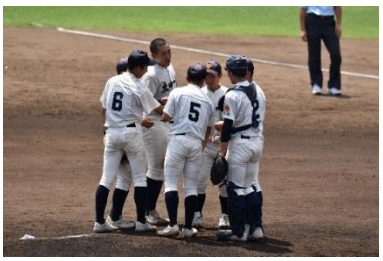








しかし、6回までナイスピッチングを見せる柏でしたが、７回裏、相手先頭打者にセンターへ弾き返されると、2アウト3塁から5番打者にレフト前タイムリーを打たれて３点目を奪われます。



2026 SUMMER！

茨城県立太田第一高等学校野球部 20

○7/15　太田一高 対 霞ケ浦高　ノーブルホーム水戸　第２試合　⑤

【３回戦】

太田一高	０	０	０	０	０	０	０	０	０
霞ヶ浦高	０	２	０	０	０	０	１	０	３

その後太田一打線は、6回に先頭の四倉がレフト前に、8回にはやはり先頭の荷見がライト前に、最終回にも砂川翔がショートの内野安打とヒットを放ちますが、相手エースを打ち崩すところまでは行けず、結局無得点のまま0-3で試合終了。再び校歌を歌うことは出来ませんでした。











しかしながら、強豪霞ケ浦高相手に３失点に抑えた柏・竹林のバッテリー、そして再三のピンチをしっかりと守り抜いた守備陣、２度にわたる１アウト満塁のピンチでの無失点で切り抜けるダブルプレーは、本当に見事でした。

ここまで何度も何度も繰り返し練習して来た最高のプレーが、ここぞという最大のピンチでミスなく出来たことは、チームとして最高の成果。「勝利」とも言えるビッグプレーでした。

大和田主将率いるマネージャー１人を含む３年生１０人の高校野球は終わりましたが、ここまで同じ目標を掲げ、ともに切磋琢磨してきた２年と４ヶ月すべてが「心の中の甲子園」だったと思います。胸を張ってまた新たな一歩を踏み出してください。お疲れ様でした。

ありがとう、３年生！